

ひとえだ

一枝のゆめ通信

Piece of Dream Foundation Letter

第4号・第5号合併号

発行日：2020年6月1日
発行人：矢野 忠 編集・印刷人：藤井亮輔
〒115-0045 東京都北区赤羽1-45-5
クロスポイント赤羽1F
電話：03-6310-5172
FAX：03-6310-5172
振替口座：00170-4-487300
(ゆうちょ銀行)
(一般財団法人 一枝のゆめ財団)

【お詫び】 昨年未発行予定の会報第4号が事務作業の遅れにより未発行となっております。会員の方々ならびにご支援をいただいている皆様方に心よりお詫び申し上げます。今号は、2020年度事業計画を中心とした第5号の内容と前号で掲載予定だった内容のダイジェストを併せてお届けします。

◎ 財団のミッション

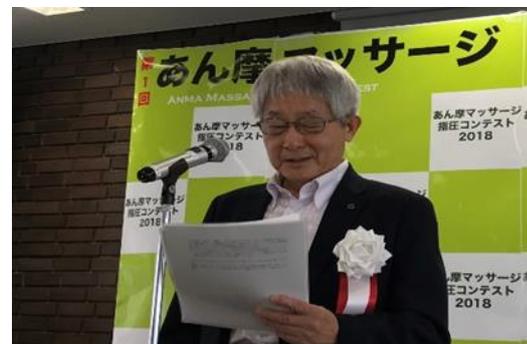
- ・高い資質を備えた鍼灸マッサージ師を育成します
- ・三療の魅力と価値を発信し若者に夢を与えます
- ・視覚に障害のある業者の就労や経営を支援します
- ・地域の人々や労働者の健康づくりを支援します
- ・ミッションを推進する活動拠点の整備を目指します

一枝のゆめフェスタ・第2回全国あん摩マッサージ指圧コンテスト開催

第2回全国あん摩マッサージ指圧コンテストが9月21日、東京有明医療大学（東京都江東区）で行われ、全国12都府県から集った腕自慢の24名が技を競い合いました。厳正な審査の結果、鈴木健三氏（東京都）が最優秀賞の栄冠に輝き理事長表彰のほか、日本視覚障害者連合会（竹下義樹会長）から賞状と金一封が贈られました。また、藤川舞氏（熊本県）と戸田賢氏（埼玉県）の両名が優秀賞に選ばれました。

準備期間が短かった中、大会を成功裡に終えることができましたのも、会場を快くご提供下さいました花田学園理事長の櫻井康司先生をはじめ、物心両面で支えて下さった団体・個人の方々スタッフの皆さまのおかげです。この紙面をお借りし改めて深謝申し上げますとともに、選手各位の熱意と勇気ある挑戦に心からの敬意を表します。

このコンテストは、あん摩マッサージ指圧師（国家免許）が一堂に集い、「プロあん摩日本一」の座を競うわが国で唯一の大会です。施術者が互いに技能を磨き合い成長し合う文化を育てることで業界に活気が蘇るのではないかと。そんな期待・願いを込めて昨年からはじめたイベントです。以下、こぼれ話を含め、紙幅の範囲で大会を振り返ってみたいと思います。



開会の挨拶をする矢野理事長



最優秀賞の表彰を受ける鈴木健三氏

実は、昨夏の次期大会を検討する会議では、財団の身の丈に合わせて隔年開催が無難ではないかとの空気が支配的でした。しかし、初代チャンピオンに輝いた太田一郎さん（静岡県）が各種マスコミに取り上げられるなど予想を超える反響があったこと、コンテストの意義を評価する世論や毎年開催を熱望する声が多量に寄せられたことなどに背中を押される形で、開催を決断するに至りました。こうした経緯もあって、1回目の実行委員会が開かれたのは平成31年1月19日です。遅れ感はありませんでした。ただ、難航が予想された会場探しは桜井理事長の計らいです。なにより決まったこと、実行委員



表彰式後の選手全員・笑顔の集合写真

長を野口栄太郎先生（筑波技術大学教授）が快諾下さったこと、前実行委員長の近藤宏先生（筑波技術大学講師）が詳細な記録を残してくれていたこと、そして、実行委員会と事務局が一つのチームになれたことなどで、短期間に準備を整えることができました。

開会式では、矢野忠理事長（明治国際大学学長）の挨拶に続いて、参加選手24人が紹介され競技の火ぶたが切られました。選手の内訳は、晴眼者（視力に障害のない人）が13人、視覚障害者が11人、性別では男性19人、

女性5人でした。審査は、市民目線も大切にとのコンセプトの下、経験豊かなあん摩マッサージ指圧師で構成する「プロ審査部門」と一般市民だけの「一般審査部門」の合計点を競う方法で行われました。

審査の合間、会場では東京有明医療大学の本間学長と柳原智子先生の講演のほか、血管年齢測定、ベッドサイド英会話、企業展示などのイベントも企画され大会を大いに盛り上げてくれました。以下、審査方法の概要を紹介します。

審査は、「医療面接と背腰部のあん摩15分」（プロ審査）と「椅子座位での施術10分」（一般審査）の総合評価で行われましたが、今回は評価の一層の客観化を図るため、プロ審査員に実技評価者（模擬患者）だけでなく客観的評価者も配置しました。

まず、プロ部門の実技評価では自己紹介、主訴の聞き取り、インフォームドコンセント、軽擦・揉捏・

指圧法（筋肉・コリの捉え方、リズム、漸増漸減、垂直圧、刺激量）、コミュニケーションなど6項目を、また、客観評価では身だしなみ、施術姿勢、患者への心配りなど5項目を、それぞれ4段階（一部2段階）で評価しました。一方、一般審査部門ではマナー・接遇、手技の満足度、リピート希望の3項目を5段階で評価しました。各選手はプロ審査ブース（実技と客観評価者2名）を2カ所と一般審査員席3カ所をローテーションするので、独立した7人の審査員の評価を受けるシステムです。

昨年と比べると改善を図りましたが、施術の技能を短時間で測定するのは難しく、成績に納得できない選手もおられたことと思います。今回の反省点を教訓に、第3回コンテストではより客観性の高い評価基準の構築を目指したいと思います。（文：藤井亮輔、写真提供：視覚障害者支援総合センター）



施術競技（プロ審査・背腰部）風景

第4期事業報告（概要）

1. 会議の開催

- (1) 理事会3回：20年8月18日、20年2月14日、21年5月15日（WEB会議）
- (2) 評議員会3回：20年8月18日、21年3月11日、21年5月22日〈メール上の持ち回り会議〉
- (3) 評議員選定委員会1回：4月28日（メール会議）
- (4) 第2回全国あん摩マッサージ指圧コンテスト実行委員会4回（第5～第9回）：19年5月13日、19年6月14日、19年7月12日、19年8月16日、19年9月13日
- (5) 訪問マッサージ技能検定検討委員会2回（第4回・第5回）：19年5月6日、19年10月25日

2. 一枝のゆめ治療院の運営（概況）

一枝のゆめ治療院の収入は、赤羽1丁目に移転した昨年3月から増加に転じた後、30万円から40万円で堅調に推移しピークの今期10月は前期比6.9倍の44万円台となりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い3月は10ヵ月ぶりに30万円を割り込み、自主休業（4月16日～5月11日）を余儀なくされた4月は前期比46%マイナスの14万円まで減少しました（表、グラフ）。

表1 第3期（18年6月～19年5月）の施術所来院患者数（延べ数）と施術料収入

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
施術所	16	10	9	10	6	6	6	4	5	15	34	48
	640	345	305	385	290	260	250	200	230	480	1,340	1,720
訪問マ	396	483	389	389	347	873	859	865	727	1,049	1,272	1,187
総売上	1,036	828	694	774	637	1,133	1,109	1,065	957	1,529	2,612	2,907

※「施術所」の上段は患者数、下段は院内施術の売上。「訪問マ」は訪問マッサージの売上

※売り上げの単位は100円

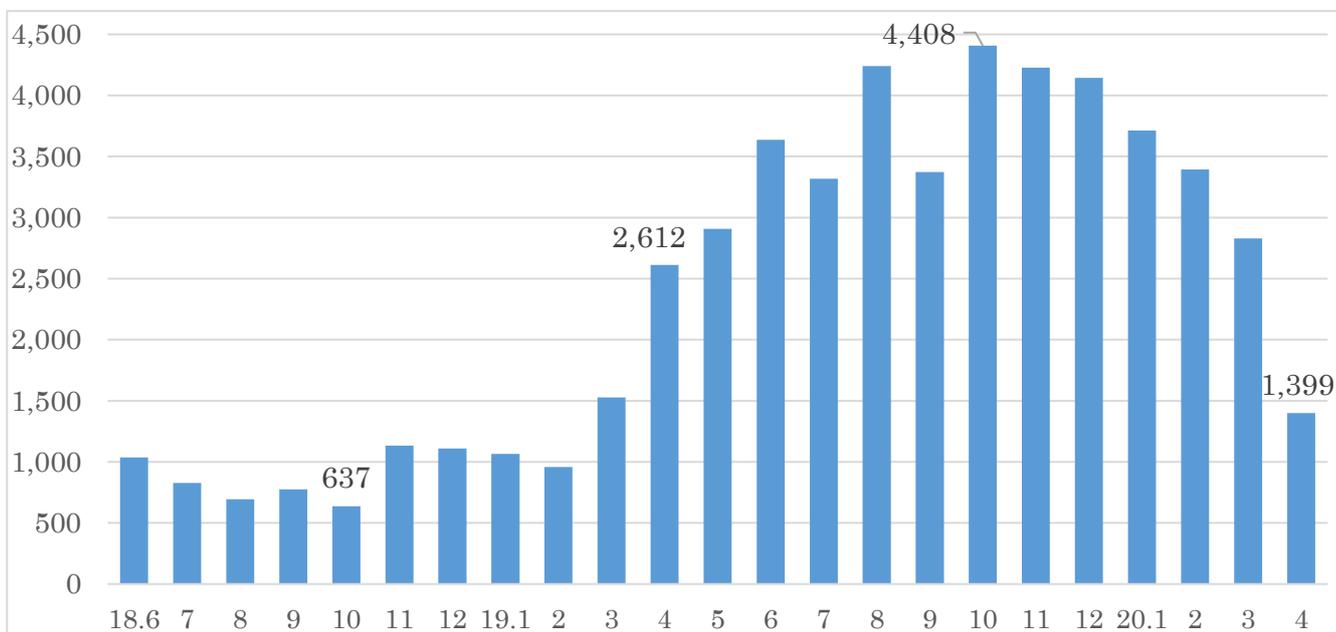
表2 第4期（19年6月～20年5月）の施術所来院患者数（延べ数）と施術料収入

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
施術所	56	46	68	64	71	69	66	66	65	51	12	56
	2,080	1,750	2,660	2,020	2,780	2,700	2,820	2,310	2,290	1,930	500	
訪問マ	1,558	1,567	1,582	1,352	1,628	1,527	1,325	1,402	1,103	899	899	
総売上	3,638	3,317	4,242	3,372	4,408	4,227	4,145	3,712	3,393	2,829	1,399	

※「施術所」の上段は患者数、下段は院内施術の売上。「訪問マ」は訪問マッサージの売上

※売り上げの単位は100円

＜グラフ＞ 第3期・第4期（4月まで）の施術料収入（総売上）の推移



3. 講座・セミナー

第3期は、鍼灸マッサージ師を対象とした財団主催の講座を22回、外部機関から依頼された講座（講師派遣事業）を5回の計27回の学術講座を実施しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今年4月から6月までの毎月第2日曜日に予定していた機能訓練実践講座シリーズを延期するなど、事業の縮小を余儀なくされました。以下、第4期の開催実績を報告します。

(1) 鍼灸マッサージ師のための機能訓練実践講座（於：日本総合医療学院）

	月	日	講師	10:00～13:00	14:00～17:00	参加人数
				内容	内容	
前期	6	9	藤井亮輔(筑波技術大学教授)	関節モビライゼーションの基礎理論	肩・肘・手関節のモビライゼーション(基礎実技)	19
	7	14	藤井亮輔(同)	股・膝・足関節のモビライゼーション(基礎実技)	総復習	19
	8	11	藤井亮輔(同)	肩痛の病態機序と運動学的アプローチの考え方	複合療法の実際(手技・運動法・関節M・鍼通電)	19
	9	8	藤井亮輔(同)	膝痛の病態機序と運動学的アプローチの考え方	複合療法の実際(手技・運動法・関節M・鍼通電)	19
後期	12	8	渡辺慎也(埼玉セントラル病院PT)	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション[急性期]	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション[回復期]	7
	1	12	渡辺慎也(同)	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション[生活期]	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション[ADL①]	7
	2	9	渡辺慎也(同)	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション[ADL②]	脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション[ADL③]	7
	3	8	譲矢正二(元東京大学付属病院PT)	整形外科疾患に対する保存療法[上肢疾患]	整形外科疾患に対する保存療法[下肢疾患]	4

(2) 低周波鍼通電療法の基礎から臨床応用まで（於：一枝のゆめ治療院）

	月	日	講師	所属	10:00～17:00	参加人数
初級	11	3	坂井友実	東京有明医療大学教授	低周波鍼通電療法の基礎と基本技術	9
	11	10	水出 靖	東京有明医療大学准教授	頸肩部、肩関節部の筋パルス	7
	11	17	野口栄太郎	筑波技術大学教授	腰下肢の筋パルス	8
中級	12	1	徳竹忠司	筑波大学講師	腰下肢の低周波鍼通電療法	4
	12	8	菅原正秋	東京有明医療大学准教授	頸、肩、上肢の低周波鍼通電療法	5
	12	15	坂井友実	東京有明医療大学教授	神経パルス入門	4
上級	1	12	菅原正秋	東京有明医療大学准教授	下肢の神経パルス	9
	1	19	菅原正秋	〃	頸、上肢の神経、筋パルス	9
	2	2	徳竹忠司	筑波大学講師	腰下肢の神経パルス	7
応用	2	9	水出 靖	東京有明医療大学准教授	病態の捉え方と鍼灸療法①	5
	2	16	水出 靖	〃	病態の捉え方と鍼灸療法②	5
	2	23	水出 靖	〃	病態の捉え方と鍼灸療法③	5

(3) 鍼灸マッサージ師のための英会話（於：日本総合医療学院）

	月	日	講師	所属	10:00～17:00	参加人数
基礎編	11	10	ワイマン・ゴードン	ゴードン鍼灸院 院長	患者の受け入れ・誘導、あいさつ自己紹介、姿勢の指示、施術中の応答、予約の取り方、施術内容・方法の説明など	7
臨床編	1	26	足達 謙	筑波大学附属視覚特別支援学校教諭	肩こり、腰痛、膝痛患者の主訴の聞き取り、触察時のコミュニケーション、検査の説明、施術内容・方法の説明など	5

(4) 外部機関からの依頼講座・セミナー（講師派遣事業）

月	日	講師	研修会名称	テーマ	会場
5	19	藤井亮輔	国立障害者リハビリテーションセンター・特別養護老人ホーム勤務者卒後研修会	関節障害とモビライゼーションの基礎と応用	国立障害者リハビリテーションセンター
10	5	藤井亮輔	国立障害者リハビリテーションセンター卒後研修会	低周波鍼通電療法の基礎と実際	国立障害者リハビリテーションセンター
11	10	藤井亮輔	株式会社レイス・ヘルスケア研修会	訪問マッサージの未来と求められるスキル	NATULUCK 神田
11	29	藤井亮輔	国際視覚障害者援護協会・白い杖の留学生国際大会	眼精疲労マッサージの理論と実際	アルカディア市ヶ谷
12	19	藤井亮輔	株式会社マイナビパートナーズ研修会	はり施術と医療事故	マイナビケアルーム 竹橋

2020年度事業計画

2019年度第3回理事会が去る5月15日（金）にオンラインで行われ、2020年度事業計画案と収支予算案が承認されました。新型コロナウイルスの感染拡大で第3回あん摩マッサージ指圧コンテストの中止や講座の一部縮小を余儀なくされましたが、研修生受け入れや卒後鍼灸手技研究会の事務局受託など新規事業もいくつか立ち上げました。

1. 一枝のゆめ治療院の運営（継続）

三療を提供する「一枝のゆめ治療院」（院内部門・訪問部門・派遣部門）を患者数の増大に努めつつ引き続き運営します。この目標を達成するため、施術者の更なるスキルアップと広報・営業活動を強化しつつ、月次経営会議を開催して管理運営の適正化・効率化に努めます。コロナ禍で急減した患者数も治療院再開後、徐々に回復しつつありますが、「新しい生活様式」が推奨される中、当面は厳しい状況が続きそうです。この局面を打開するため、1時間2500円の臨床研修協力患者の募集、近隣の医療機関との連携、高齢者用集合住宅への出張施術など「打って出る経営」に力を注ぎます。

2. 講座・セミナーの開催（継続）

【A講座】臨床力向上セミナー（於：一枝のゆめ治療院、7シリーズ）

- ・回数：1シリーズ・3回/月 1回6時間/日
- ・内容：低周波鍼通電療法初級編・中級編、腰痛、女性疾患、スポーツ障害など
- ・定員：1シリーズ10名 ・受講料：1シリーズ3万円（+材料費）

【B講座】鍼灸マッサージ師のための機能訓練実践講座（於：ヘレンケラー学院、3シリーズ）

- ・回数：1シリーズ・3回（毎月第2日曜日） 1回6時間/日
- ・内容：関節モビライゼーションの理論と実際、肩痛の複合療法、膝痛の複合療法
- ・定員：1シリーズ20名 ・受講料：1シリーズ3万円（教材費込み）

【C講座】鍼灸マッサージ師のためのベッドサイド英会話（於：ヘレンケラー学院、1シリーズ）

- ・回数：1シリーズ・3回 1回4時間/日
- ・内容：基本的な問診、施術中の安全管理、体位の指示等の英会話
- ・定員：20名 ・受講料：25,000円（+教材費）

【D講座】医師のための鍼灸実践講座（於：一枝のゆめ治療院、2シリーズ）

- ・回数：1シリーズ・1回 1回4時間/日
- ・内容：刺鍼法の実際 低周波鍼通電療法の実際
- ・定員：8名 ・受講料：30,000円

3. 訪問マッサージ技能検定試験の実施（継続）

訪問マッサージ師の技能の専門性と信頼性を高めることを目的に、施術者の有する技能を公正・公平に評価・測定するための検定試験を2020年度内に実施する方向で準備に入っています。本事業は㈱フレアスとの共同で行うもので、初年度は知識のみを問う試験を試行的に行う予定です。目下、「技能検定試験委員会」と「標準テキスト編纂委員会」で試験問題の作問やテキストの執筆・編纂に関する具体的な検討に着手しています。

4. 講師派遣事業（継続）

あはき師の質の向上に資する目的で、三療に関する講演会、研修会に講師を派遣する。本事業は、全国の学校、業団体、研究会、企業等からの依頼に応じて当該団体が主催する講演会、実技研修会等に講師を派遣するもので、三療に関する最新の知見や有用な臨床技術の指導・教育に当たります。

5. 研修生受け入れ事業（新規）

高度な知識と臨床力を備えた鍼灸マッサージ師を実践的に育成することを目的に、不特定多数のあはき師免許を有する若い方々を研修生として受け入れ、本財団の役員及び臨床経験豊富な鍼灸マッサージ師等による指導体制の下、あはき師養成に係るリカレント教育の一翼を担います。定員は若干名、研修期間は1年（原則週に2日）。研修費用（年間）は100,000円です。初年度は4名の応募があり本年3月に実施した第1回選考試験で全員合格し4月より研修を開始しています。

一枝のゆめ財団第1期研修生名簿

	氏名	出身学校	卒業年度
1	権田昌子	東京衛生学園	2010年3月
2	岩谷紘大	九州医療スポーツ専門学校	2019年3月
3	森 健太	筑波技術大学	2020年3月
4	川淵大成	筑波技術大学	2019年3月

6. 実習生受け入れ事業（新規）

あはき師としての基本的な態度と臨床に関する基礎的能力を養うことを目的に、学校からの依頼に応じ、当該校の学生を実習生として受け入れます。あはき師養成学校で課される「臨床実習」の一部を担うもので、あはき臨床教育の充実・改善に資する事業です。2020年度は日本鍼灸理療専門学校（花田学園）と東京有明医療大学の2校から依頼があり、受け入れに向けた準備を進めています。

7. 卒後鍼灸手技研究会の事務代行業（新規）

卒後鍼灸手技研究会（以下、「研究会」という）の事務の代行を請け負う活動を通して、あはき師学校養成施設を卒業した有資格者等の生涯研修の充実と業の発展に資することを目的としています。一般会員、DVD会員及び団体会員の会員名簿の管理、年6回の研究会に係る開催通知の発送と教材（点字を含む）の作成、DVDの製作・梱包・発送等の事務業務を研究会の委託を受けて代行します。

8. 広報活動の強化

ホームページと会報の充実を図り、当財団の理念ならびに事業内容の啓発と、不特定多数の鍼灸マッサージ師の質の向上に資するための有用な情報の発信を積極的に行います。

9. 経営基盤の強化に向けた取り組み

安定した財団運営を行うため、基幹事業である施術所収入と講座収入の一層の増収に務めるとともに、賛助会員の拡大と公益法人格（内閣府所管）の早期取得を目指します。

10. 地域との共生活動

地域に根差した財団運営を目指すため、北区住民を対象とした市民講座を定期的に関講するとともに、医療機関・介護保険施設などとの連携や、「赤羽馬鹿祭」などのイベントへの参加を検討します。

11. 調査研究事業

新型コロナウイルス感染拡大の三療業への影響等に関する緊急アンケートを、公益社団法人日本あん摩マッサージ指圧師会、公益社団法人東京都盲人福祉協会と共同で実施するほか、三療の自営業者を対象とした実態調査を関係団体からの委託を受けて実施します。

12. その他

- ・就労移行支援事業所の立ち上げに向けた調査研究を進めます。
- ・組織運営の円滑化・効率化を図るため、オンラインによる会議を積極的に進めます。

◎第4期会員（敬称略）

◎ゆめ会員（敬称略）

【青森県】大久保友芳、南館邦士【福島県】佐藤功、渡辺雅彦【栃木県】坂本一【茨城県】小林公子、野口栄太郎、山田信代【千葉県】長岡英司、藤井勝治【埼玉県】川島恵司、近藤宏、中西初男、前田智洋、山口智、譲矢正二、菅原寿彦【東京都】石渡博明、古賀義久、笹川吉彦、丹沢章八、藤井晃子、藤井栄美子、藤井克徳、藤井真理、藤井ゆき代、安野富美子、与那嶺岩夫、植田員弘、新井愛一郎、足達謙【神奈川県】富安猛、小谷田作夫【石川県】宮村健二【静岡県】小田木宏江、陳中医研究所、松尾春正、松尾真行【岐阜県】川喜田健司【愛知県】菱田岐代子【奈良県】喜多嶋毅【京都府】竹下義樹【兵庫県】山田(蓬萊)阿弥【岡山県】竹内昌彦【島根県】小川幹雄【山口県】安田和正【愛媛県】和田浩一【福岡県】岡田富広、野村秀紀、吉松政春【長崎県】東濱啓【鹿児島県】木村正宏【沖縄県】糸数三男、大城保夫、下地幸夫、知花光秀、仲宗根義美、中本与一、平良恵忠、福里実、仲村渠弘康、友寄隆光【アメリカ】岩本光弘

◎個人会員（敬称略）

【茨城県】坂本裕和、塙太一、山田信代【栃木県】兼目忍【群馬県】松浦良民【埼玉県】菅野健司、菅原寿彦、山口智、山本栄治【千葉県】剣持英子【東京都】新谷弘子、大谷正子、草川継夫、笹川吉彦、澤田稔、志村まゆら、竹内幸男、谷脇慶子、長谷俊幸、藤井晃子、与那嶺岩夫、磯部直樹、穴戸郁子、山川優美、福田道子、伊藤華菜子、山口修、新井律子、田口京子、建部英子、橋本絹江、岩瀬千鶴子、田辺美和子、深田信子、越川璋子、小杉恵美子、石倉愛子、富田輝子、高橋敏江、有本一樹、永桶達也、中山晴美、加藤三佐子、林美聖、石井秀明【神奈川県】大町雅志、古賀公子、竹内大、中野幸太、大山正【長野県】関口かおる【群馬県】狩野裕治【岐阜県】松浦研一【山梨県】飯野由利【静岡県】岡田剛【京都府】井上基浩、鶴浩幸、廣正基【大阪府】郡司弘子【兵庫県】小川結子(旧姓 柳田)【岡山県】竹内昌彦【福岡県】原田八千代

【県名不詳】ウキタマサキ

◎法人会員（敬称略）

(株)サンライズジャパン、株式会社オフィスマッサージ、株式会社フレアス、(公社)全国病院理学療法協会、(学)花田学園

◎第4期寄付者（敬称略）

【青森県】関向ツマ、南館邦士【福島県】渡辺雅彦【茨城県】塙太一、山田信代【群馬県】松浦良民【埼玉県】川島恵司、中西初男【東京都】安達雅子、坂井友実、望月美紀子、藤井晃子、藤井ゆきを、藤井亮輔、与那嶺岩夫、【神奈川県】竹内大【長野県】関口かおる【静岡県】小田木宏江【京都府】矢野忠【大阪府】郡司弘子【福岡県】原田八千代【沖縄県】下地幸夫【県名不詳】水上次郎

◎第5期評議員・役員

〔評議員〕

(五十音順)

氏名	所属	任期
足達 謙	筑波大学附属盲学校教諭	令和6年5月31日
荒川明宏	(株)ラビット代表取締役	令和4年5月31日
伊藤久雄	(公社)全日本鍼灸マッサージ師会会長	令和3年5月31日
石渡博明	国際視覚障害者援護協会理事長	令和6年5月31日
近藤 宏	筑波技術大学講師	令和6年5月31日
笹川吉彦	東京都盲人福祉協会理事長	令和6年5月31日
中山哲志	株式会社サンライズ代表取締役	令和6年5月31日
長岡英司	筑波技術大学名誉教授	令和6年5月31日
長嶺芳文	埼玉県鍼灸マッサージ師会副会長	令和6年5月31日
前田智洋	筑波大学附属盲学校教諭	令和6年5月31日

〔役員〕

(五十音順)

役職	氏名	所属	任期
理事長	矢野 忠	明治国際医療大学学長	令和4年5月31日
副理事長	坂井友実	東京有明医療大学教授	令和4年5月31日
専務理事	藤井亮輔	筑波技術大学名誉教授	令和4年5月31日
理事	小田木宏江	(有)陳中医研究所取締役	令和4年5月31日
//	坂本 一	(有)KENYU 代表取締役	令和4年5月31日
//	澤登 拓	(株)フレアス代表取締役	令和4年5月31日
//	竹下義樹	日本視覚障害者団体連合会長	令和4年5月31日
//	野口栄太郎	筑波技術大学名誉教授	令和4年5月31日
監事	下山 充	(株)山田園代表取締役	令和4年5月31日
	田辺和泉	前大森法人会専務理事	令和6年5月31日

◎スタッフの異動

藤井亮輔専務理事が筑波技術大学の満期退職に伴い4月1日付で当財団の常勤職員（一枝のゆめ治療院院長兼務）となりました。また、財団設立時から事務方でご尽力くださいました平林義和さんが3月末で退職し杉田有由菜さんが事務専属（パート）で着任しました。施術担当では、浅田麻希さんと南條均さんが任期を終え。野口栄太郎理事が非常勤で水曜日の施術を担当します。治療院のスタッフと担当曜日は以下のとおりです。

	氏名	月	火	水	木	金	土	備考
院長	藤井亮輔	○	○		○	○		常勤（院内施術担当）
副院長	小島永吉		○	○	○	○	○	常勤（院内・訪問施術担当）
	坂井友実						○	非常勤（院内施術担当）
	野口栄太郎			○				非常勤（院内施術担当予定）
	山崎直美	○		○		○	○	パート（院内・出張施術：11:00-18:00）
事務	杉田有由菜		○		○	○		パート（10:00-15:00）

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の研修施術に ご協力いただける患者さまの募集

■ ご協力お願いの趣旨

一枝のゆめ財団では、公益事業の一環として、附属東洋療法研修センターで更に高度な臨床力の向上を望む国家資格（厚生労働大臣免許）を取得した、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師（以下、施術者といいます）を対象に1年間の卒後教育を提供しています。

同センターでは鍼灸学博士・医学博士の学位を持つ経験豊かな大学教授陣が、東洋医学の知見や科学的エビデンスに基づいて臨床技術の指導に当たります。質の高い有能な施術者を育成するには、さまざまな健康障害を実際に見聞し、教授陣の指導のもとに多くの患者さまを施術することが何より大切です。

そこで、教授陣の指導のもとに行う研修生の施術（問診・評価を含みます）を受けていただける方（レジデント患者）を募集することといたしました。なお研修生は国家免許を保有している有資格者ですので、安全で一定レベルの施術を行う臨床力を備えています。

■ 募集対象

気になる症状でお悩みの方は、どなたでもご応募いただけます。例えば、次のような症状をお持ちの方。ただし、医師による治療中の症状や病気については、事前にご相談ください。

【症状】首・肩こり/目の疲れ/頭が重い・痛い/手足の痛み・しびれ/手足の関節の痛み/腰痛/全身の疲労・だるさ/不眠/手足の冷え/手足のむくみ/月経痛/逆子/うつ傾向 など

■ 施術曜日 月曜日 水曜日 金曜日

■ 施術時間 各曜日共通 午前 10:00～12:00
(1人60分枠) 午後 13:00～17:00

■ 受付人数 各曜日 10人程度

■ 施術場所 一枝のゆめ治療院/附属東洋療法研修センター（下記）

■ 施術料金 2,500円（通常料金の半額以下）

<患者さまにご理解・ご協力いただきたいこと>

1. 原則、3日前までに下記の電話にご予約を入れてください。
2. その際、「レジデント患者を希望」とお伝えください。
3. 症状の質や程度でご希望に沿えない場合や予約状況しだいで日にちの変更をお願いする場合があります。
4. 施術後に所定のモニターシートへの記入（感想など）のご協力をお願いします（所要時間3分以内）。

<ご予約・お問い合わせ先>

一般財団法人^{ひとえだ}一枝のゆめ財団/附属東洋療法研修センター
〒115-0045 東京都北区赤羽1-45-5 クロスポイント赤羽1階
TEL 03-6337-2902

◎一枝のゆめ治療院料金表

6月から消費税相当額を加算した料金に改めました。

	区分	30分	60分	90分
手技 (A)	一般	3,000	5,500	8,000
	ゆめクラブ	2,500	4,500	7,000
はり・灸 (B)	一般		5,500	
	ゆめクラブ		4,500	
複合 (A+B)	一般		5,500	8,000
	ゆめクラブ		4,500	7,000

第5期賛助会員の会費納入ならびにご寄付のお願い

当財団の趣旨に賛同して下さる賛助会員は「個人」と「法人」に区分されています。また、個人会員は会費の額により、「一般会員」(年会費 5,000 円)と「ゆめ会員」(同 20,000 円)の種別があります(下表)。

また、ご寄付は、用途が指定されている寄付行為と指定されていない寄付行為がありますが、今年は後者に限らせていただきます。何とぞご無理のない範囲でご検討いたしますよう、お願い申し上げます。

会費の納入またはご寄付につきましては、同封の振込用紙をご使用になるか、下記の口座にお振込みいただけますようお願いいたします。

- ゆうちょ銀行からのご入金
記号・番号：00170-4-487300
名称：一般財団法人 一枝のゆめ財団
- 他の銀行からのご入金
銀行名：ゆうちょ銀行
支店名：〇一九店(ゼロイチキューウ)
口座種類：当座預金
口座番号：0487300

賛助会員の区分		会 費	期間
個 人	一般会員	5,000 円	1 年
	ゆめ会員	20,000 円	1 年
法 人		30,000 円	1 年

編集後記

コロナ禍は収束に向かいつつありますが、「新しい生活様式」という名の自粛を強いられる日々が当面は続きそうです。一枝のゆめ財団も昨年引っ越した赤羽1丁目の地で軌道に乗り始めた矢先の緊急事態宣言で大きな打撃を受けました。自主休業を余儀なくされていた治療院は5月11日に再開したものの患者数はV字回復とはいきません。希望と不安の入り混じる日々がしばらくは続きますが、軌道に戻るまでの時間を充電の好機ととらえ、飛躍のステップにしたいと思います。職員一同、心を一つに頑張りますので、引き続きのご支援、何卒お願い申し上げます。

＜藤井亮輔＞